外 国 語 活 動　　学 習 指 導 案

学校名　北 広 島 町 立 八 重 小 学 校
授業者　Ｔ１ パワーアップリーダー　三 宅　　知 英 子
Ｔ２　Ａ　　Ｌ　　Ｔ　Richard Santa Cruz

1　日　時　　令和元年６月 26 日（水）
2　学　年　　第５学年　23 名
3　単元名　　先生たちのすごいところを紹介しよう
She can run fast. He can jump high.
（関連する We Can１の単元：We Can！1　Unit 5）
4　単元について

○本単元は，学習指導要領（平成 29 年度告示）解説外国語活動・外国語編の(３)「【話すこと（やり取り)】イ　自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について，簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして，伝え合うことができるようにする。」に基づいて指導する内容である。

本単元は，ALT や友達に，「先生のできること」をクイズ形式で紹介する活動をゴールに設定している。八重小学校の先生方ができることを紹介するためにインタビューしたり紹介ポスターを書いたりする活動を行う。書いたポスターは廊下に掲示し，先生のことを分かりやすくみんなに伝えるという目的意識を持たせる。児童には身近な人である先生や友達のことを「もっと知ることができた。」という喜びを持たせることができる。他者に配慮しながら，自分のことだけでなく，身近な人である先生や友達のできることを認め合ったり,できないことについて共感し合ったりする場を仕組む事で，先生や友達への興味・関心を高めることができる単元である。

○昨年２月に行ったアンケート調査では，「外国語活動の授業に進んで参加しています。」の項目においては，肯定的評価が 95.5%と非常に高い。

しかし，「話すこと（やり取り)」に関しては，「相手がゆっくり話していればだいたいの内容が分かります。」の項目において肯定的評価が 77%，「英語でやりとりをする時には，会話が続くように知っている表現を使うようにしている。」の項目において肯定的評価が 82%と他の項目より低い。やりとりをしたい気持ちがあるが，英語を使ってのやり取りに慣れ親しんでおらず，適切な反応や会話の継続ができていないと言える。

○指導に当たっては，単元の初めに，指導者が先生紹介ポスターを見せながら「Who is she/he?クイズ」をする発表を見せ，自分達もやってみたいという気持ちを持たせたい。最終的な学習につながる課題を示すことで，コミュニケーションの目的や場面，状況等を明確にし，学習への見通しをもたせることができるようにする。また，「先生や友達についてもっと知りたい。」「自分の大切な先生や友達のことを紹介するために必要な語彙や表現を学びたい。」という意欲や関心を高めることができるようにする。

かかわり合いの場面では，指導者がやりとりのモデルを示し，話す内容だけでなく，話し方や表情などの望ましい姿を見せることで，児童のコミュニケーション力の態度の育成を図る。会話を継続させようとしている児童を認めたり良いモデルとして全体で共有したりしながら，使用する表現の幅を広げる。英語が相手に伝わるという喜びを味わわせて学びに向かう姿勢を育て，自信を持たせる取組を進めたい。

さらに，振り返りの場面では，単元を通して新しく知ったことや気づいたこと，自分がどのようなことに興味を持って学習し，これからどのような力を身に付けていきたいかなど，振り返りの視点を示して振り返りカードに記述するようにさせ，課題解決ができたことに対する達成感を持たせる。

5　単元の目標

○他者に配慮しながら，自分や第三者についてできることやできないことを紹介しようとする。
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

○できることやできないことを聞いたり言ったりする表現に慣れ親しむ。【外国語への慣れ親しみ】

○文字には音があることや多様な文化の存在に気付く。　【言語や文化に関する気付き】

6　単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
・他者に配慮しながら，自分や第三者についてできることやできないことを紹介しようとする。	・できることやできないことを聞いたり言ったりする表現に慣れ親しむ。	・文字には音があることや多様な文化の存在に気付く。

7　単元のゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	先生を紹介しよう ALT や友達に自分の学校の先生ができることを紹介するために，インタビューした「先生のできること」をクイズ形式で紹介するやりとりを行う。
目指す発話例	【先生へのインタビュー】 S: Do you like sports?　T: No, I don't. S: Well…, do you like music?　T: Yes, I do. S: What music do you like?　T: I like classical music. S: Oh, good.　Can you play the piano?　T: Yes, I can. S: Can you play the violin?　T: No, I can't.　But I can play the flute. S: Flute?　Great! 【先生のできること紹介】 S1：He can play baseball. He can run fast. He can ski . But he can't ride a unicycle. Who is he? S2：○○sensei. S1：That' s　right.

8　言語材料（下線は新出表現，語彙）

主な表現	主な語彙
・Can you (sing well)? ・Yes ,I can/No,I can't. ・(I/You/She/He) (can/can't)(sing well). ・Who is he/she? ・反応の表現（I see. Oh, really?など） ・Do you like (soccer)? ・Yes, I do. / No, I don't. ・ I like / don't like (soccer) very much. ・What (sport) do you like?	・動作（play(the recorder/the piano),ride a (bicycle/unicycle） swim, skate, ski, cook, dance, run fast, jump high, sing well) ・can, can't , ・I , you, he , she

9　単元計画【全８時間　本時　6/８時間】

時	目標と主な活動	評価規準 評価方法	表現例
1	◆単元終末の活動を知り，単元の見通しを持つ。 先生のできることを紹介しよう ○先生の紹介を見せ，単元のゴールをつかみ，先生のことを ALT や他の友達に伝えてみたい，先生のことも知りたいという気持ちをもつ。	【コ】 行動観察・振り返りカード	He can play baseball. He can run fast. He can ski . But he can't ride a unicycle. Who is he?
2	◆「できる」「できない」という表現を知る。 動作を表す表現を知る。 自分ができることやできないことを言ってみよう。 ○small talk：担任の先生のできること・できないこと ・【Let's　Watch and think2】（P．36） ・【Let's　Play１】（P．34，35） ・【Let's Chant】（P．35） ・pointing game （動作を表す言葉）をする。	【気】 行動観察・振り返りカード	・I can/can't （sing well). ・動作 swim,　skate,　ski,　cook,　dance, ride a（unicycle）,　run fast,　jump high,　sing well
3	◆「できる」「できない」という表現を聞いたり言ったりする。 動作を表す言い方には違いがあることを知る。 できることやできないことを伝え合おう。 ・【Let's Chant】（P．35）Can you sing well? ・【Let's listen１】（P．36）音声を聞いて，どの動物か考える。 ・キーワードゲーム（動作を表す言葉）をする。 ・Let's play ペアでできることを伝え合う。	【気】 行動観察・振り返りカード	・I can/can't （sing well). ・動作 swim,　skate,　ski,　cook,　dance, （play baseball/soccer), play(the recorder/the piano),ride a（unicycle）,　run fast,　jump high,　sing well
4	◆できることやできないことを含む短い話を聞いて，具体的な情報を聞き取ったり，できるかどうか尋ねたり答えたりする。 友だちにできるかどうか尋ねてみよう。 ・【Let's Chant】（P．35）Can you sing well? ○small talk：自分のできること ・【Activity】ペアでできることやできないことを予想して尋ね合う。 ・【Let's listen２】（P．36）音声を聞いて，どの動物か考える。 ・先生のできることできないことを予想して尋ねてみよう。	【慣】 行動観察・振り返りカード	・I can　swim. ・Can you swim? ・Yes,　I can. ・Oh, nice. You can swim well.
5	◆短い話を聞いて具体的な情報を聞き取るとともに，できるかどうか尋ねたり答えたりする。 友だちにできるかどうか尋ねてみよう。 ○small talk：スポーツ ・【Let's Chant】（P．35）Can you sing well? ・【Activity２】ともだちにできるかどうか尋ねる。	【慣】 行動観察・振り返りカード	・I can　swim. ・Can you swim? ・Yes,　I can. ・Oh, nice. You can swim well.

6 本 時	◆いろんな人のできることを紹介する言い方が分かる。 〇small talk：先生のできること ・【Let's Chant】（P. 35）Can you sing well? ・【Activity】いろんな人を紹介する言い方を考える。 ・【Activity】先生のできることを伝える言い方を考える。	【気】 行動観察・ 振り返りカード	He can play baseball. He can run fast. He can ski . He can't ride a unicycle.
7	◆先生のできること・できないことカードを書く。 ・【Let's listen３】（P. 40）音声を聞いて，どの人物か考え，番号を記入する。 ・【Activity】〇先生紹介ポスターを仕上げる。 ・【Activity】〇先生紹介ポスターをもとに，練習をする。	【コ】 行動観察・ 友達ポスター・ 振り返りカード	He can play baseball. He can run fast. He can ski . But he can't ride a unicycle. Who is he?
8	◆先生のできることを紹介しよう	【コ】 行動観察・ 振り返りカード	He can play baseball. He can run fast. He can ski . But he can't ride a unicycle. Who is he?

10　本時の計画

（１） 目標

・新出語彙（he,she）の示す意味に気付く。

（２）評価規準

・新出語彙（he,she）の示す意味に気付いている。【言語や文化に関する気付き】

（３）準備物

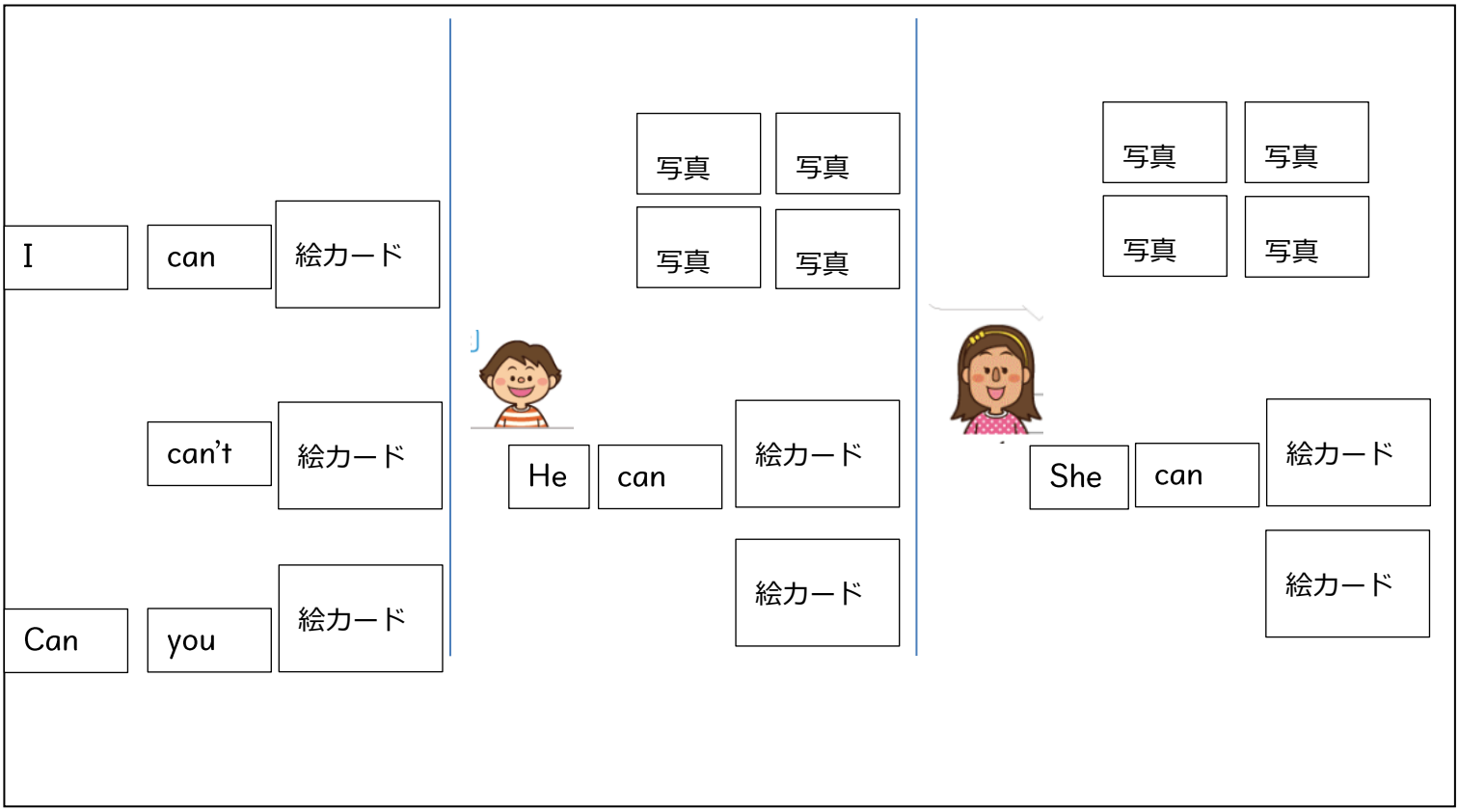
教室用ＰＣ，教師用絵カード，ワークシート，モニター

（４）学習の展開

児童の学習活動	指導者の役割		・指導上の留意点等 ◆評価
	Ｔ１	Ｔ２（ＡＬＴ）	
1　挨拶をする。 ・学習リーダーが中心となってやりとりを進める。 ・曜日，日付，天気を言う。 Ｌ：Hello, everyone. How are you? How is the weather? What is the date today?			
2 チャンツをする。		・児童から口が見える位置に立ち，一緒に声を出す。	・リズムに乗って行い，励ましたり，良さを認めたり，変化をつけたりすることでしっかりと声を出させ，表現に慣れさせる。

3　指導者のやり取りを聞いて，本時の表現を確認する。【短い会話を聞く】（できること・できないこと） 4　児童同士ペアで練習する。	T1：Hello！ T2：Hello！Do you like music? T1：Yes,I do. T2：What music do you like? T1: Classic. T2:Can you play the piano?（ピアノを弾くジェスチャーをしながら） T1:Yes,I can. I can play the piano. T2:Can you play the guitar,too? （ギターを弾くジェスチャーをしながら） T1:Yes,I can. I can play the guitar. I can play the classic guitar. T2:Great! T1:Can you play the piano, ○○ kun? （ピアノをひくジェスチャーをしながら） T2:Yes,I can. T!:Oh,you can play the piano.Great!! 他のみんなもどんなことができるか知りたいな。	・ペアを交代し，何度も練習させる。 ・児童の言い間違いを指摘するのではなく，正しく言い直して聞かせることで気付かせる。気付かせたら再度言わせる。 ・困ったことや「言いたかったけど言えなかった」表現を出し合う。
5　単元の流れを振り返り，本時の活動の見通しを持つ。		・学習計画図をもとに，目的意識や相手意識を確認することで，活動の見通しを持たせる。
いろんな人のできることを紹介するには？		
6　指導者のやり取りを聞き新出表現に気付く。【短い会話を聞く】 ・校内の先生等のできることについて聞く。		・違いに気付くよう，he か she の部分をゆっくりはっきり伝える。 ・男性と女性に分けて写真を貼ることで，視覚的に気づきやすいようにさせる。
T1:I can swim.(大げさに自分を指さし) Can you swim?（大げさに相手を指さし） T2:Yes,I can. T1:Oh,you can swim.（大げさに相手を指さし） （前に出て，児童に向かって） T1:Oh,Rick sensei, he can swim. (坂戸先生の近くに行く)（大げさに相手を指さし） T1:I can swim.(大げさに自分を指さし) Can you swim?（大げさに相手を指さし） 坂戸:Yes,I can. T1:Oh,you can swim.（大げさに相手を指さし） （前に出て，児童に向かって） T1:Oh,Sakato sensei. He can swim. (教頭先生の近くに行く)（大げさに相手を指さし） ・・・・【参観されている人に次々と質問する。】		

			・何人かの児童に指名をし，やり取りをしていくうちに児童の理解が深まるようにする。 ・確認する際には，he/ she を使って，できることやできないことを繰り返し言わせたり聞かせたりするようにさせる。
【「課題の設定場面」でめざす子供の姿】 S1：今までは，I とか You とか言っていたけど，He　とか She とか言っている。			
○参観されている先生に聞いてみんなに紹介してみよう。			・ペアで活動させ，活動していくうちに児童の理解が深まるようにする。
S1:I can swim.(大げさに自分を指さし) Can you swim?（大げさに相手を指さし） ○○:Yes,I can. S1:Oh,you can swim.（大げさに相手を指さし） （前に出て，みんなに向かって） ○○:Oh,○○ sensei. He can swim. 【数人の児童が参観されている先生にインタビューして，みんなに紹介する。】			◆新出語彙（He，She）の意味に気付いている。
【「かかわり合い」でめざす子供の姿】 S1S2S3：男性は he,女性は she を使うんじゃないかな。目の前にいる人に話す時は You だけど，紹介するときは He や she を使うんじゃないかな。			
○みんなに紹介する先生が He か She か判断してペアで確認したり練習したりする。			
【「かかわり合い」でめざす子供の姿】 S1S2S3：ぼくたちは男の先生だから，He can play tennis.と言えばいいんだね。			
7　本時の活動を振り返る。 ・本時の狙いが達成できたか自己評価させ，達成感を持たせる。	・振り返りをすることを伝える。		
【「振り返り」でめざす子供の姿】 S：男性は he,女性は she を使うことが分かった。先生を紹介するときにも，he や she を使って紹介したい。 S:目の前にいる人に話す時は You だけど，離れると He や she を使うことが分かった。			
8 終わりの挨拶をする。 T1:　Good-bye. See you! T2:　Good-bye. See you next time!			

11　板書計画

Today's goal　いろんな人のできることを紹介するには？